

医学部：保健学科（放射線技術科学専攻）

【卒業要件：124単位】

1. 全学教育科目は、卒業要件として（イ）～（ホ）に従い、32単位以上を修得する。

（イ）教養教育科目は、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

コア教養科目の「人間と文化」、「文芸と人間」、「歴史の認識」の中から1科目2単位以上、

コア教養科目の「異文化の理解」、「現代の政治と法」、「現代の社会と経済」の中から1科目2単位以上、

コア教養科目の「地球と生命」、「数理と情報」、「物質の世界」の中から1科目2単位以上を修得する。

なお、コア教養科目の「医療と福祉」、「芸術とテクノロジー」については、1科目2単位に限り、コア教養科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

また、個別教養科目の中から4単位以上を修得する。

個別教養科目として次の科目が病院地区で開講される。

「医療の歴史」、「医療統計学」、「家族論」、「保健福祉概論」、「介護福祉論」、「健康管理論」、

「チーム医療」、「健康教育論」、「カウンセリング論」

（ロ）言語文化科目Ⅰでは、第1外国語（英語）6単位以上、第2外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、朝鮮語、スペイン語のうちから1カ国語）4単位以上を修得する。

言語文化科目Ⅰの英語科目として、「医用英会話」、「医用外国語学」が2年次以降に病院地区で開講される。

（ハ）健康・スポーツ科学科目Ⅰでは、「健康・スポーツ科学講義」、「健康・スポーツ科学実習」を修得する。

（ニ）基礎科学科目Ⅰでは、必修科目8単位を修得する。

（ホ）情報処理科目Ⅰでは、「情報処理基礎演習」を修得する。

2. 専攻教育科目では、卒業要件として低年次専攻教育科目を含めて82単位を修得する。

3. 医学部保健学科放射線技術科学専攻の卒業要件として、上記1及び2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により10単位以上を修得する。

なお、上記10単位のうち4単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

また、基礎科学科目Ⅰの中で次の科目を履修することが望ましい。

「電磁気学基礎」、「細胞生物学」

